法学部

Faculty of Law

- 法律学科
- 経営法学科

FUKUOKA UNIVERSITY

FACULTY GUIDEBOOK

福岡大学

学部ガイド2026

JUSTICE & LEGAL MIND

私の、社会に対する思いや意見が、
ほんとうに正義なのか。
学び、話し合い、体験し、
じっくり考えている。

※本冊子に掲載している人物の情報は、2024年度取材時のものです。

目次

学部長メッセージ …… 01
学科紹介 …… 02
　法律学科 …… 02
　経営法学科 …… 04
カリキュラム …… 06
教員からのメッセージ …… 08
法学部Topics …… 10
就職 …… 14
法科大学院 …… 15
法学部Q&A …… 16

▶ 法学部が入学を求める人とは— アドミッション・ポリシー

法学部は、人材養成・教育研究上の目的を達成するために、

1 人間性豊かな正義感・責任感の強い人
2 現代社会の諸問題に問題意識を持ちその解決に強い意欲を有する人
3 論理的思考力を身に付けたい人
4 コミュニケーション能力を身に付けたい人
5 法学および政治学を学ぶにふさわしい基礎的学力・社会的常識のある人
6 法学および政治学の専門知識を体系的に習得して社会貢献したい人
7 国際社会において法学および政治学の専門知識を生かして活躍したい人

の入学を求めています。

学部長メッセージ

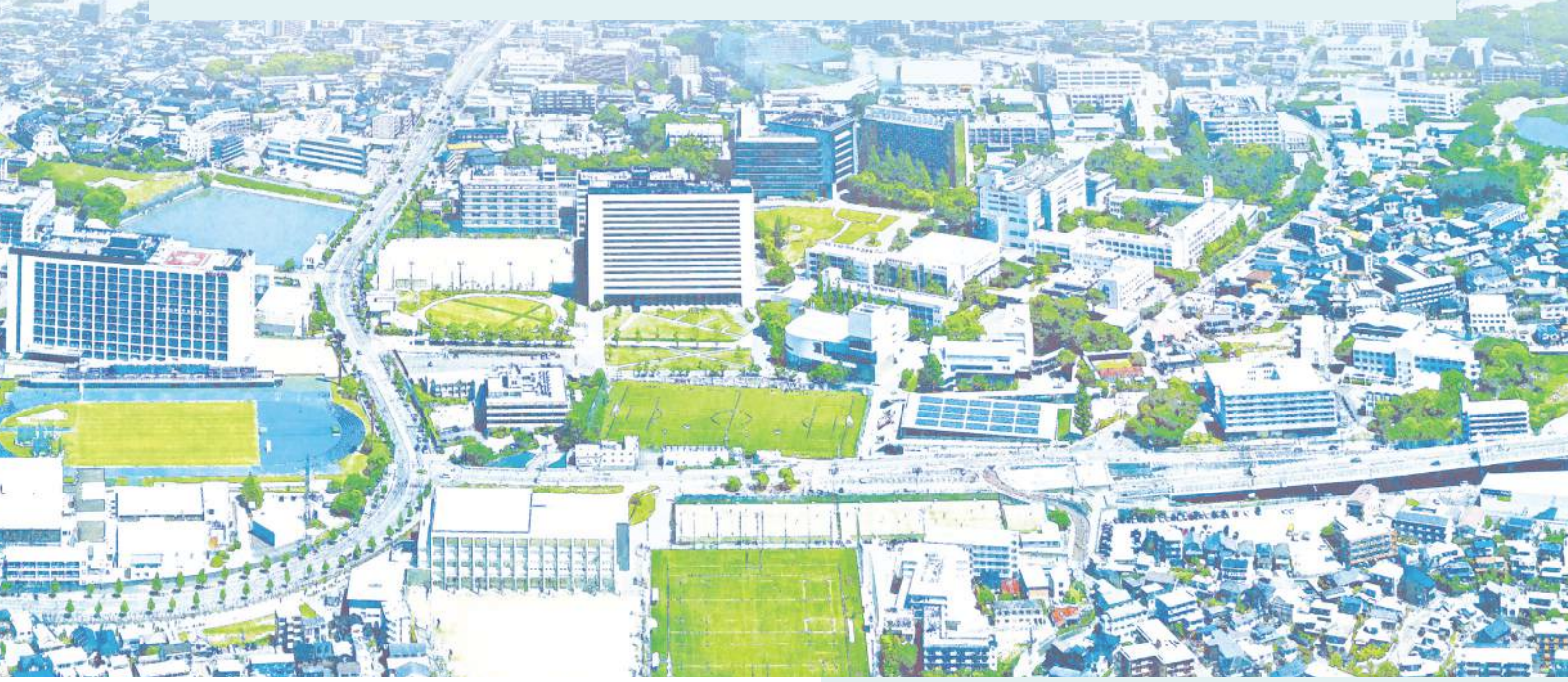
法学・政治学の勉強を通して、思考力・判断力・行動力を身に付けて、社会に羽ばたく

法学部長　北坂 尚洋 KITASAKA Naohiro

法は、社会の基礎となっています。どの分野に進んでも、法を知っておく必要があります。弁護士・司法書士・行政書士等の法律専門職は、当然、法を知っておかなければなりませんが、法律専門職でなくても、法を知っておく必要があります。例えば、教員であれば、教育基本法や学校教育法を知っておかなければなりません。車の運転免許を取得するためには、道路交通法の知識が不可欠です。法と社会は、強く結びついています。

ただ、法学部は、法を丸暗記する学部ではありません。法学部での勉強では、もちろん、法学・政治学の知識を得ることになりますが、それで終わりではありません。その知識に基づいて自分で考え、自分の意見を相手に分かりやすく論理的に伝えることも学びます。その過程では、人の意見を聞いたり、自分で文献を調べたりして、バランスのよい結論を導き出すことが必要となり、社会で必要とされる思考力・判断力・行動力も身に付けていきます。

この学びを実現させるため、福岡大学法学部では、1年次には、全員が少人数ゼミに所属し、学びの基礎を修得して、2年次からは、一人一人の目標に合わせて、コースを選択することになっています。意欲ある優秀な学生を対象とした「特修プログラム」もあります。それぞれの希望に合った選択をすることで、自分らしい充実した法学部生活を送ってください。



▶ 1年次からの少人数・クラス担任制で、きめ細かな指導

創立から66年を迎え、これまで優秀な卒業生を世に輩出してきた法学部。総合大学の長所を生かし、他学部との連携のもと、周辺分野を広く取り入れた法学教育を行っています。教育スタッフの盛んな学際的研究は常に最新の社会動向に対応し、講義やゼミなどの教育に反映されています。また少人数教育を重視し、将来の進路に応じたコース制を採用。さらにクラス担任制度を設け、きめ細かい学生指導を実現しています。

人材養成の目的「三つのポリシー」

- アドミッション・ポリシー（AP）〈入学者受け入れの方針〉
- カリキュラム・ポリシー（CP）〈教育課程編成・実施の方針〉
- ディプロマ・ポリシー（DP）〈学位授与の方針〉

法学部の詳細は以下のQRコードから（公式ウェブサイト）

▼AP　▼CP　▼DP

法律学科

Department of Jurisprudence

入門ゼミで楽しく法学に触れ、将来を見据えたコース履修へ。社会で活躍するためのリーガル・マインドを身に付ける。

将来の目標に応じて学べる3コース(「法律総合コース」・「公共法務コース」・「総合政策コース」)を設置しています。それぞれの目標の実現につながる授業を体系的に展開しています。また、1年次から少人数制のゼミを導入し、4年間を通じて濃密な学びや考察、議論に取り組むことで、社会での活躍の土台となるリーガル・マインドを身に付けていきます。
※本学部は、本学法科大学院と法曹養成連携協定を締結し、2020年3月、文部科学大臣の認定を受けました。

求める人材像(求める能力)

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、法律学や政治学を学ぶのに十分な基礎学力(読み書きの力を含む)を有している人
B	技　能	学んだ知識をもとに、問題解決のあり方を示すことができる人
C	態度・志向性	社会で生じているさまざまな問題を積極的に解決しようとする姿勢や、積極的に社会に貢献しようとする姿勢を持つ人
D	その他の能力・資質	英語の資格を取得した人や、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

求める人材像(求める能力)の詳細は

法律学科での4年間

1年次

法律学・政治学の勉強に慣れる

- 法学部生の必須アイテム「六法」の使い方を徹底的に習得します。
- 法律用語も法律の論理も独特ですので、早く慣れるようにします。
- 法律学の最も基礎となる憲法、民法、裁判所の仕組みを学びます。
- 政治学入門では、政治社会とは何か、政治と法との関係、民主主義について学びます。
- 教養科目を幅広く学びます。

○ 法学部入門ゼミ　(詳しくはP.11)。
○ 基礎ゼミ(東京研修)(詳しくはP.12)。
○ 憲法Ⅰ, Ⅱ
○ 民法入門, 民法総則
○ 政治学入門
○ 裁判制度概論　など

→

2年次

将来の進路を見据えてコースを選択する

- 法律学科の学生は、2年次から3つのコースに所属します。法律総合コース、公共法務コース、総合政策コースがあります(詳しくはP.16)。
- 関心の高い刑法など、専門科目が一気に増えます。ゼミも専門科目ごとに分かれます。
- 法科大学院教員が指導する「特講」が始まります。

法律総合コース
公共法務コース
総合政策コース

※法律特修プログラム(詳しくはP.12)。

→

3/4年次

専門科目の学習を深め、進路に向けて取り組む

- 所属コースの専門科目を中心に、自分の進路を意識して学習を深めます。
- 専門科目は応用科目が多くなってきます。情報法、NPO論、マスメディア論など、最先端の社会問題に取り組む科目もあります。「九州地域政策」、「警察活動の理論と実務」、「キャリアプランニング」は、現職の公務員や警察官と法学部教員が共同で授業を行います。
- 4年次は演習や卒業論文で法学部の学習の総仕上げをしましょう。

→

卒業後

官民を問わず広く社会に貢献し活躍する人材へ

学科
公式ウェブサイト ›

ゼミ紹介　芥川ゼミ ｜ 演習Ⅰ（刑法）

実際の事件を題材にして、犯罪が成立するかを考えています。因果関係や正当防衛など、刑法ではさまざまな抽象的な概念が登場します。これを実際の事件に当てはめてみると、新しい発見や深い理解が得られます。最初は有罪と考えていた事件でも、討論を通じて意見が変わることもあるかもしれません。これもゼミの楽しみです。

法学部の学習が役に立つ受験・資格

- ✓国家公務員・地方公務員
- ✓国税専門官
- ✓裁判所事務官
- ✓法科大学院
- ✓司法書士
- ✓行政書士
- ✓宅地建物取引士
- ✓社会保険労務士
- ✓税理士　など

在学生の声

4年次生　**樅木 涼花** さん
（佐賀県 佐賀北高校出身）

法律学の基礎をしっかり固めてコースを選択。身に付けた思考力や読解力で就職を有利に。

Q1 この学科の魅力は？

法律の専門知識や現実問題に活用するためのスキルを習得することで、公務員や民間企業、士業などさまざまな進路への可能性が広がる点が魅力です。私は学びを通して「地域を支える」意識が芽生えたことで、法律が社会をより良くする手段であることを理解しました。また、社会問題やニュースへの関心も自然と深まり、多角的に考える力が身に付きます。

Q2 好きな授業は？

九州地域の災害リスクや地方公共団体の防災対策などを学習する「九州地域政策」です。さまざまな現場の方々を講師にお招きし、国や地方自治体の防災対策、減災活動について学びます。事前の備えや、「自助」と「共助」の重要性を改めて実感しました。また、県や市の防災担当者を講師に迎えた際は、地域災害の実情を知ることができ、大いに学びとなりました。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00		国際私法	情報処理論A		国際法各論
10:40		国際法各論	民事訴訟法Ⅰ	国際私法	社会福祉概論
13:00		刑法Ⅰ		演習Ⅱ（法社会学）	マスメディア論
14:40					
16:20					刑法Ⅰ

卒業生の声

進路に最適化された少人数のコースで互いに切磋琢磨した日々。ゼミが法律家を目指す基礎となった。

本学科では、目指す進路に合わせ3つのコースに分かれて少人数で専門的な学習を進めます。法曹界を目指す学生が身近にいて、彼らと切磋琢磨したことで法律家への想いがより強くなりました。特に印象に残っているのは、2年次から履修するゼミです。具体的な事例を基に法的な問題点を分析・検討し、日常生活における法律の解釈や適用事例、適切な解決法について深く考えました。この経験は法律学の面白さに触れる貴重な経験であったとともに、法律家を目指す礎となりました。

卒業後は検察官として6年勤務した後、企業法務に興味を持ち、現在は法律事務所で企業の通報窓口の調査担当弁護士として、内部通報に係る調査などを実施しています。

相手のニーズを把握・理解して進めていく今の仕事で欠かせないコミュニケーションスキルも、本学科での学びがあったから養われたと感じています。

堀江 将生 さん（2012年卒業）
渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
（弁護士）

法学部

経営法学科

Department of Business Law

企業における法の役割を理解し、企業法務の知識を身に付けて経営者や国際的なビジネスパーソンを目指す。

企業法務に精通したビジネスパーソンとして活躍したい人、起業や会社経営を目指す人を対象に、会社法・経済法・知的財産法・税法などのビジネス・ローを学ぶ「企業法コース」。商社や外資系企業、旅行業などでの国際的な活躍を目指し、国際法を中心に学ぶ「国際コース」。両コースとも、実際のビジネスシーンにおける法の役割を理解し、運用する法務能力を培うカリキュラムで構成しています。あらゆる業種・業界のリーダーに求められる企業法務の知識を身に付け、将来の活躍に結び付けます。

求める人材像（求める能力）

A	知識・理解	高等学校の教育内容を幅広く学修しており、経営法学を学ぶのに十分な基礎学力（読み書きの力を含む）を有している人
B	技　能	学んだ知識をもとに、問題解決のあり方を示すことができる人
C	態度・志向性	自ら立案した企画の実現に向けて積極的に取り組もうとする姿勢や、世界の状況に積極的に対応しようとする姿勢を持つ人
D	その他の能力・資質	英語の資格を取得した人や、スポーツ活動などで顕著な成績をおさめた人

求める人材像（求める能力）の詳細は

経営法学科での4年間

1年次

企業法を勉強するとともに英語や国際関係に関心を持つ

- 法学部生の必須アイテム「六法」の使い方を徹底的に習得します。法律用語も法律の論理も独特ですので、早く慣れるようにします。
- 経営法学の最も基礎となる民法と裁判所の仕組みを学びます。
- 企業法入門で、経営に関わるさまざまな法律の基礎を学びます。
- 教養科目を幅広く学びます。

○ 法学部入門ゼミ
○ パワーアップゼミ（専門英語ゼミ）（詳しくはP.11）。
○ 国際コミュニケーション海外研修（シアトル研修）（詳しくはP.10）。
○ 民法入門、民法総則
○ 企業法入門
○ 裁判制度概論

→

2年次

将来の進路を見据えてコースを選択する

- 経営法学科の学生は、2年次から2つのコースに所属します。企業法コース、国際コースがあります（詳しくはP.16）。
- 専門科目が一気に増えます。ゼミも専門科目ごとに分かれます。法学部が認めるインターンシップは卒業単位になります（詳しくはP.17）。
- 英語や国際交流に関心のある人は、「海外法政研修」がお勧めです（詳しくはP.10）。

企業法コース
国際コース
※企業法務特修プログラム

→

3／4年次

専門科目の学習を深め、進路に向けて取り組む

- 所属コースの専門科目を中心に、自分の進路を意識して学習を深めます。
- 専門科目は応用科目が多くなってきます。たとえば、金融商品取引法や企業取引決済法といった経営法学の最先端科目、国際私法（国際結婚などを取り扱います）、国際取引法、国際経済法など、国際的な問題に関わるさまざまな法律、さらには知的財産法、税法、観光法といった実践的科目があります。
- 4年次は演習や卒業論文で法学部の学習の総仕上げをしましょう。

→

卒業後

法と経営、海外に関する幅広い知見と国際コミュニケーション力を生かし、社会を支える人材へ

学科
公式ウェブサイト ›

ゼミ紹介　畑中ゼミ ｜ 演習Ⅰ（民法）

民法とともに、最近の法律ニュースを取り上げています。報告後は数名のグループで報告の良かった点と聞いてみたい点を話し合い、発表し、報告者が答えます。10月のゼミでは食品ロス削減推進法が報告され、「え、今月が削減月間だったの？」「そういえば、バイト先でこんな取り組みがありました」「衣服ロスも問題では」という感じで、みんなで勉強しています。

法学部の学習が役に立つ受験・資格

- ☑司法書士　☑行政書士　☑宅地建物取引士　☑社会保険労務士　☑税理士
- ☑国家公務員・地方公務員　☑国税専門官　☑裁判所事務官　☑法科大学院　など

在学生の声

3年次生　松枝 遥希 さん
（福岡県 折尾高校出身）

法的な視点でビジネスの課題を学び、経営に必要な判断力や思考力を伸ばす。

Q1 この学科の魅力は？

ビジネスのリスク管理能力や法的な判断力が身に付くことが魅力です。本学科では憲法や刑法などの六法と、会社法をはじめとする経営に直結する法律を同時に学びます。判例や条文をもとに論理的な議論を重ね、数多くの意見をまとめる機会があり、思考力が鍛えられます。日常の些細な違和感に気付く力、物事に対する追求力、発言力も向上します。

Q2 好きな授業は？

所属する「演習Ⅱ（刑法）」ゼミです。本授業では、過去の事件の背景や判例を深く掘り下げ、他学科を交えて議論します。多様なバックグラウンドを持つ学生と議論するので、新たな視点や考え方に気付けます。法律が現実の事件や人々の生活に与える影響や、法の意義・役割を考えさせられ、目標とする会社経営にも役立つ実践的な思考力が養われました。

私の時間割（3年次前期）

	月	火	水	木	金
9:00					国際法総論
10:40		民事訴訟法Ⅰ	国際経済法	知的財産法	
13:00	債権法Ⅰ	国際法総論		日本文学A 教養ゼミ	
14:40	アジア法	警察活動の理論と実務		企業法務特別演習	演習Ⅱ（刑法）
16:20	知的財産法			倒産処理法	国際経済法

卒業生の声

大学で学んだ法律の専門知識を業務に生かし、お客さまの笑顔で成長を実感。

社会の仕組みや人々の権利・義務について理解を深めるだけではなく、論理的思考力や問題解決能力も高められるのではないかと考え、本学科への進学を決めました。少人数のゼミでは、異なる視点を持つ人々との議論を通し、多様な意見や価値観に触れ、自分の見識を広げることができました。中でも印象に残っているのは、会社のガバナンス体制の強化や企業組織再編成について討論し合った他大学との合同ゼミです。レベルの高い発言が多く、刺激になりました。

これらの経験を生かしたいと思い、就職先は地方経済の発展に寄与できる銀行員を選びました。金融商品を販売する際にはさまざまなルールがあり、お客さまとの契約には法律的な視点が必要不可欠です。専門知識が問われる仕事でも保険法や金融商品販売法などの知識を大学で身に付けていたおかげで、苦手意識なく前向きに取り組めています。

天神原 華奈 さん（2020年卒業）
株式会社福岡銀行

カリキュラム

（2025年度入学生適用）　●必修科目　○選択必修科目　△選択科目

■法律学科

	1年次	2年次		3年次			4年次
専門教育科目	●憲法Ⅰ,Ⅱ ●民法入門 ●民法総則 ○政治学入門 ○裁判制度概論 ○法学部入門ゼミ ○基礎ゼミ						
		○債権法Ⅰ,Ⅱ ○物権法Ⅰ ○刑法Ⅰ ○会社法Ⅰ,Ⅱ	○民法特講Ⅰ ○刑事法特講Ⅰ ○政治学原論 ○演習Ⅰ	○憲法特講	○民法特講Ⅱ,Ⅲ ○刑事法特講Ⅱ		○演習Ⅱa,Ⅱb
				○演習Ⅱ			○演習Ⅲ
		法律総合コース △憲法Ⅲ △行政法Ⅰ △物権法Ⅱ △親族法 △商法総則 △商行為法 △経済法	△労働法 △消費者法 △法社会学	△債権法Ⅲ △相続法 △民事訴訟法Ⅰ,Ⅱ △刑法Ⅱ △刑事訴訟法 △手形・小切手法 △金融商品取引法	△企業金融法 △保険法 △海商法 △知的財産法 △税法ⅠA,ⅠB,ⅡA,ⅡB △民事執行・保全法 △倒産処理法		△不動産登記法 △商業登記法 △国際私法 △国際取引法 △国際民事手続法 △法哲学
		公共法務コース △憲法Ⅲ △行政法Ⅰ △物権法Ⅱ △親族法 △国際法総論 △国際関係論	△経済法 △ミクロ経済学概論 △マクロ経済学概論	△行政法Ⅱ △地方自治法 △比較憲法 △債権法Ⅲ △相続法 △民事訴訟法Ⅰ,Ⅱ	△刑法Ⅱ △刑事訴訟法 △刑事政策 △国際法各論 △税法ⅠA,ⅠB △社会保障法		△環境法 △情報法 △政治過程論 △行政学 △法哲学 △行政特別演習Ⅰ,Ⅱ
		総合政策コース △行政法Ⅰ △労働法 △国際関係論 △ミクロ経済学概論 △マクロ経済学概論 △日本政治外交史	△西洋政治史 △政策過程論	△行政法Ⅱ △地方自治法 △社会保障法 △環境法 △情報法 △政治過程論	△行政学 △政治思想史 △政策評価論 △都市政策 △九州地域政策 △福祉国家論		△社会福祉概論 △地域福祉論 △NPO論 △マスメディア論 △政策特別演習Ⅰ,Ⅱ
	△公共政策概論 △アメリカ法セミナーⅠ △特別講義A	△情報処理論A, B △英米法 △ドイツ法 △フランス法 △キャリアプランニング △アジア法セミナーⅠ △ドイツ法セミナーⅠ △フランス法セミナーⅠ △アメリカ法セミナーⅡ △概説日本史 △概説外国史 △概説社会学 △概説哲学	△特別講義B	△日本法制史 △西洋法制史 △東洋法制史 △ローマ法 △近代日本法史 △児童福祉論 △法医学 △警察活動の理論と実務 △特別講義C △特別講義D △特別講義E △アジア法セミナーⅡ △ドイツ法セミナーⅡ	△フランス法セミナーⅡ △アメリカ法セミナーⅢ		△大学院連携特別演習Ⅰ,Ⅱ △卒業論文
関連教育科目	他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目						

科目の詳細 ❯
シラバスWeb版 ❯

■ 経営法学科

	1年次	2年次		3年次		4年次
専門教育科目	●民法入門 ●民法総則 ○憲法Ⅰ,Ⅱ ○裁判制度概論 ○企業法入門 ○国際関係学入門 ○法学部入門ゼミ ○パワーアップゼミ ○国際コミュニケーション・法政事情Ⅰ,Ⅱ ○国際コミュニケーション海外研修	○債権法Ⅰ,Ⅱ ○物権法Ⅰ ○会社法Ⅰ,Ⅱ ○企業法総論	○企業取引法 ○民法特講Ⅰ ○演習Ⅰ	○民法特講Ⅱ,Ⅲ ○演習Ⅱa,Ⅱb ○演習Ⅱ		○企業法務特別演習 ○演習Ⅲ
		企業法コース △行政法Ⅰ △物権法Ⅱ △親族法 △経済法 △労働法 △ベンチャー起業と法 △消費者法	△海外法政事情Ⅰ,Ⅱ △海外法政研修	△債権法Ⅲ △相続法 △民事訴訟法Ⅰ,Ⅱ △企業金融法 △企業取引決済法 △商事法総合講義 △金融商品取引法	△保険法 △中小企業と法 △知的財産法 △社会保障法 △不動産登記法 △商業登記法 △民事執行・保全法	△倒産処理法 △税法ⅠA,ⅠB,ⅡA,ⅡB △環境法 △観光法 △インターンシップ
		国際コース △国際法総論 △国際関係論 △外国法政論 △英米法 △ドイツ法 △フランス法 △アジア法 △EU法	△西洋政治史 △海外法政事情Ⅰ,Ⅱ △海外法政研修 △アジア法セミナーⅠ △ドイツ法セミナーⅠ △フランス法セミナーⅠ △アメリカ法セミナーⅡ	△国際法各論 △国際私法 △国際取引法 △国際知的財産法 △国際民事手続法 △国際経済法 △国際税法 △アジア太平洋関係論	△海商法 △知的財産法 △環境法 △比較憲法 △観光法 △NPO論 △マスメディア論 △西洋法制史	△外交史通論 △アジア法セミナーⅡ △ドイツ法セミナーⅡ △フランス法セミナーⅡ △アメリカ法セミナーⅢ △インターンシップ
	△政治学入門 △アメリカ法セミナーⅠ △特別講義A	△刑法Ⅰ △政治学原論 △法社会学 △情報処理論A, B △キャリアプランニング △概説日本史 △概説外国史 △概説社会学 △概説哲学 △特別講義B		△法哲学 △東洋法制史 △ローマ法 △近代日本法史 △警察活動の理論と実務 △特別講義C △特別講義D △特別講義E		△大学院連携特別演習Ⅰ,Ⅱ △卒業論文
関連教育科目	他学部の授業科目のうち法学部教授会が適当と認める授業科目					

教員からのメッセージ

法学部に所属している教員をご紹介いたします。
※2025年4月1日現在

芥川 正洋 准教授

ドラマでよく登場する刑法ですが、その背後には学問が詰まっています。
なぜ・どのようなときに、刑罰を受けなければならないか、考えてみませんか？

専門分野
刑法

生田 敏康 教授

契約法と不法行為の関係、システム開発契約、民法（債権関係）改正などに興味をもっています。

専門分野
民法

池端 寛史 講師

香川県生まれの神奈川県育ちです。勉強のついでに、九州の名物や観光地を教えてください。喜びます。

専門分野
憲法

椛島 洋美 教授

国境を越えて動くモノ・ヒト・カネ・情報等、1つの国では解決できない問題について一緒に考えましょう。アジアの主要都市に直行便で行ける福岡のような地でこそ、グローバルとローカルが交差するような現実の問題を実感を持って検討できると思っています。

専門分野
政治学・国際関係論

北坂 尚洋 教授

小さい頃、親がよく旅行に連れて行ってくれました。そのためか、あちこち動き回ることが好きです。国際的な分野の興味を持ったのもそのためだと思います。

専門分野
国際私法・国際民事手続法・
国際取引法

櫛田 久代 教授

法学部で法律を勉強するつもりが、社会や法律を形作る政治の営みの方に関心が向かい、今に至ります。ぜひみなさんも、自分の中の疑問や関心を大切にしてください。

専門分野
西洋政治史・政治学

小佐井 良太 教授

大学生活は人生の中でも贅沢な時間です。学びも含めて最大限に楽しみましょう。できれば、同時代／過去のさまざまな「法と社会」の問題に目を向け、しっかりと考えていただければ幸いです。

専門分野
法社会学

菅原 和行 教授

新潟で生まれ、東京、北海道、福岡と転々としてまいりました。さまざまな人や文化に出会うことは、いくつになっても楽しいことです。皆さんにとっても学生生活が世界を広げる機会になることを願っています。

専門分野
政治学・公共政策

田中 孝和 准教授

学生時代、全く興味のなかった行政法。先生の成績評価がとても厳しいという噂を聞き、（私なりに）必死に勉強しました（成績は良くありませんでしたが）…そして、いつのまにか行政法を教える立場になっていました。人生って分からないものですね。

専門分野
行政法

所 浩代 教授

北海道生まれ。小樽商大時代にひと冬100回スキーをしました。労働法ゼミが楽しくて法学者を目指しました。労働法は、アルバイトをするときにも、大変役立ちます。賢い働き方を一緒に勉強しましょう。

専門分野
労働法

中園 江里人 教授

刑事事件の報道に接しない日はなく、犯罪に巻き込まれたときの影響は甚大です。刑事事件を解決する仕組みを対象とする刑事訴訟法や、犯罪の実態や発生原因をふまえて犯罪にどう対応すべきかを探究する刑事政策を、一緒に学んでみませんか。

専門分野
刑事手続法

東原 正明 教授

福岡で生まれ育ち、北海道で学生時代を過ごしました。政治学を勉強して、「世の中はなんでこげんなっとうと？」っていうことを一緒に考えてみませんか。

専門分野
政治学・政治過程論

平澤 卓人 准教授

新潟県で生まれ、札幌で10数年弁護士として活動していました。一緒に知的財産法を勉強しましょう。

専門分野
知的財産法

廣澤 孝之 教授

学生時代はさまざまな出会いの時期だと思います。現代日本社会の「常識」は必ずしも世界の「常識」ではありません。できるだけ広い世界を見て、多くの本を読み、自分の感性を磨いてほしいと思います。

専門分野
政治学

前越 俊之 教授

金銭の嫌いな人はいないと思いますが、そのお金を支払って購入した株式の価格が、株式市場で上がったり下がったりすることが、学生時代に面白いと感じました。お金には「良いお金と悪いお金がある」といわれる一方、「お金に色はついていない」ともいいます。現在は、人間とお金との関係に興味があります。

専門分野
商法（会社法、金融商品取引法）

村林 聖子 教授

自分がどんなことに関心を持っているのかは、自分を知ることにつながります。気になるニュースが法とどのように関係しているのか考えてみるところから始めましょう。

専門分野
法哲学・法思想史

守谷 賢輔 准教授

大学生のとき、一番嫌いな科目が憲法でしたが、ちょっとしたきっかけで憲法学の面白さを知り、今に至ります。

専門分野
憲法学

安井 英俊 教授

民事訴訟とは、権利を勝ち取るための闘いです。民事訴訟法を極めれば、弁護士なしで自分だけで訴訟を起こすこともできます。君も民訴の達人になろう。

専門分野
民事訴訟法

柳 景子 准教授

民法は、取引など皆さんの日常に関わる身近な法律です。ぜひ興味を持って、一緒に勉強していきましょう。

専門分野
民法

石川 友佳子 准教授

名探偵コナンや金田一少年の事件簿などの推理アニメが大好きでした。大学では刑法を学んでからは、さらに楽しく見られるようになりました。

専門分野
刑法

大橋 敏道 教授

自分では気がつかなくても、18歳は人生の大きな分岐点です。悔いの残らない道を選んでください。

専門分野
経済法

岡田 昌浩 教授

法学を学び始めようとしている皆さんには、きっと、まだまだ分からないことがいっぱいあると思います。それは、皆さんに、分かる喜びが大いに残されている、ということでもあります。まずは、分からないということを分かりに行きましょう。

専門分野
商法（主に会社法）

小野寺 一浩 教授

東北で生まれ育ちましたが、福岡での生活の方が長くなりました。具体的な事案について犯罪が成立するかどうかを納得するまで考えてみませんか。

専門分野
刑法

佐々木 奈佳 教授

中央省庁や独立行政法人で通算30年以上勤務してきました。国民のために日々奮闘している行政機関・公務員の実像をできるだけ詳しくお伝えしつつ、皆さんが学びを深められるよう導いていきたいと思います。

専門分野
行政学

島村 健太郎 准教授

経済法は、企業の経済活動に関する法律ですが、実は、私たち消費者の身の回りの商品や芸能・スポーツの分野等とも関係しています。経済法は、社会経済のことを幅広く学べることが魅力の一つだと思います。皆さんと一緒に学べることを楽しみにしています。

専門分野
経済法

下田 大介 教授

どんな学術技芸にもいえますが、法学にも情熱を注ぐに値するおもしろさがあります。ただ、おもしろく感じる前に、ややしんどい修行が必要です。くじけずに励めば、きっと報われますので、地道に取り組んでください。私たちも精一杯サポートします。

専門分野
民法

城野 一憲 准教授

憲法に関心があり、法学部に進学しました。妻とは、法学部の憲法ゼミで出会いました。「なぜ憲法を学ぶのか」、今でもそれを考え続けています。

専門分野
憲法

芳賀 真一 准教授

クレヨンしんちゃんと同じ埼玉出身です。小中学校では一番前の席に座らされていました。人の役に立ちたくて税法を研究しています。

専門分野
税法・国際税法

萩原 一樹 准教授

国際法は、国家間の関係を規律する他、国際社会のさまざまな問題解決のために、国々が協力する枠組も作っています。どんな仕組みがあるのか、一緒に勉強してみませんか？

専門分野
国際法

畑中 久彌 教授

卒論を書いて書いて書いて書いて書いて書いていく中で、何かが自分に降りてきた感じがしました。その経験がすごくて、研究者を目指しました。

専門分野
民法

春名 麻季 教授

大阪出身のため、講義では気が付けばついつい関西弁になってしまいます。自由と平等を大切に、皆さんと一緒にキャンパスライフを満喫したいと思います。

専門分野
憲法

牧 真理子 教授

商法を学ぶ楽しさを皆さんと共有したいと思っていますが、さまざまな分野に触れて、自分の興味関心を広げていただけると嬉しいです。

専門分野
商法

松山 祐平 講師

鹿児島出身で、人生の半分以上を福岡で過ごしています。国際社会に確実な法規範として存在する国際法が、どのようにして作られ、実現されているのか、勉強していきましょう。また、勉強だけではなく、さまざまな経験もしてみましょう。

専門分野
国際法・アメリカ対外関係法

道山 治延 教授

学生の頃は山登りが好きで、久住山によく出かけていました。「よく遊び、よく学べ」。私のモットーです。

専門分野
民法（特に家族法）

蓑輪 靖博 教授

仕事をし、家庭をもつと本当に、絶対に必要。それが法の知識と考え方。まずは身近な民法から挑戦しよう。

専門分野
民法

山下 慎一 教授

サッカーが好きです。長崎で育ち、福岡で長い大学時代を過ごしました。「分かりやすく・ゆるく」講義をします。

専門分野
社会保障法

01 法学部の海外研修プログラム

法学部の海外研修プログラムは、

①専門分野でのグローバルコミュニケーションの基礎力の養成
②世界へ飛び出そうとするチャレンジ精神の養成
③グローバルな人材になれるという自信の養成

を目的としています。そのために、入念な事前学習と現地での実践的学習を行います。

現地では、自分の英語力、知識、判断力、コミュニケーション力をフルに活用し、
実践の中で、語学力も専門スキルも伸ばしていきます。

■1年次：シアトル研修（アメリカ合衆国）

※年によって研修地等の変更の可能性あり

シアトル研修（「国際コミュニケーション」）は、経営法学科1年次の選択必修科目です（法律学科は選択科目）。2001年にスタートし、今日に至っています。

参加学生は、1年次の前期（4～7月）に事前準備を行います。ゼミ形式で、英語も使いながら、アメリカの法律や政治、自分たちで決めたテーマの学習をします。

現地研修は、1年次の夏休みに、シアトルで行われます（約2週間滞在）。シアトル大学で英語で授業を受けるほか、テーマ学習を踏まえた英語でのプレゼンテーションとディスカッション、企業などでの聴き取り調査を行います。これまで、「不利な立場にある企業家の支援」、「カップケーキベーカリー業」など、多様なテーマで学習してきました。この他、裁判所など大学以外の機関も訪問します。宿泊先はホームステイです。

現地研修から帰った後は、事後学習を行います（9月～翌年1月）。事前学習と現地研修の成果を振り返り、研修報告書を作成します。

これまでの研修報告書は、法学部のウェブサイトに掲載されています。ぜひご参照ください（「福岡大学法学部」+「海外研修」で検索してください）。

１年次の夏休みに海外研修を行うプログラムは、全国の法学部でも珍しく、福岡大学法学部の特色の一つとなっています。

■2年次以上

2年次以降にも海外研修プログラム（「海外法政研修」他）があります。1年次の研修に参加していなくても、参加できます。

2年次以降の海外研修も、教員と一緒にじっくりと事前学習をした上で、現地で実践的な学習を行います（約2週間滞在）。

2年次以降のプログラムは、2002年にスタートし、今日に至っています。

【2年次以降の研修地】

研修地はプログラム実施年度の前年度に決定されます。今後、カナダの首都オタワとニュージーランドの首都ウェリントンでの研修を予定しています。なお、過去の研修地は、北京、ブリュッセル（ベルギー）、サンタバーバラ（アメリカ合衆国）、瀋陽、ハルビン（中国）、ハワイ、西安、ヴァレンシア（スペイン）、ウェリントン（ニュージーランド）、ワシントンDC、カッセル（ドイツ）などです。

カナダ 首都オタワ（国会議事堂）

ニュージーランド 首都ウェリントン（研修で訪問した消防署）

■ドイツ・カッセル大学

福岡大学法学部は、カッセル大学経済学部経営法学科と国際交流協定を結んでいます。カッセル大学は、ドイツ・ヘッセン州の州立大学であり、多数の学部を持つ総合大学です。カッセル市は、グリム童話で有名なグリム兄弟が活躍した場所であり、また、世界遺産のヴィルヘルムスヘーエ城があるなど、風光明媚な街です。

国際交流協定プログラムの一環として、2023年度はカッセル大学のジルケ・ラスコウスキー教授と同大学の学生達が福岡大学を訪れ、福岡大学法学部の学生達と合同で研修を行い、合同ゼミで相互に発表をしたり、一緒に観光したりと、国際交流を実施しました。

Universität Kassel

02 充実した少人数教育
―入学から卒業まで一貫したゼミ制度―

■多彩な法学部の少人数教育

法学部ではゼミを中心として充実した少人数教育を実施しています。法学部の少人数授業科目には大別して、①1年次向けの「法学部入門ゼミ」「基礎ゼミ」「パワーアップゼミ」、②2年次以上の学生を対象とした「演習」、③「特別演習」「特講」「外国法セミナー」といった特定の学科または特定の目的のために設置される少人数授業科目があります。

1年次向けの少人数授業科目のうち、「法学部入門ゼミ」は、高校の学習と大学の学習を架橋することを目的とするもので、原則として新入生全員が所属する全員登録科目（必修ではないが、登録を義務づけられる科目）です。「基礎ゼミ」は、公務員の仕事に興味のある法律学科の1年次を対象とするもので、希望者から選考によって履修者を決めます。東京研修とセットになっているのが特徴です。（詳細はP.12のトピックス03を参照）。「パワーアップゼミ」は、英語力を高めたい経営法学科の1年次を対象とするもので、希望者から選考によって履修者を決めます。

2年次以上の学生を対象とする「演習」は、2年次対象の「演習Ⅰ」、3年次対象の「演習Ⅱ」、4年次対象の「演習Ⅲ」、3・4年次合同で行う「演習Ⅱａ」「演習Ⅱｂ」があります。必修科目または全員登録科目ではありませんが、ほとんどの学生がいずれかの演習を登録・履修しています（演習については以下の記事を参照）。

「特別演習」「特講」「外国法セミナー」は、公務員、法科大学院進学その他、特定の目的のために設置される少人数授業科目で、意欲ある学生の需要に応えています。

■個性あふれるゼミの紹介

国際私法　北坂ゼミ

国際私法・国際取引法・国際民事手続法に関する時事問題を取り上げています。社会で現実に起こっている問題の本質を考え、法律的に考えています。

憲法　城野ゼミ

今日のテーマは「外国人の地方参政権を認めるべきかどうか」。発表班の報告をもとに、全員で意見を出し合い、ディスカッションをします。

基礎ゼミ　菅原ゼミ

「基礎ゼミ」は1年次対象のゼミであり、公的機関（中央政府や地方自治体）の役割や公務員の仕事などについて学びます。

税法　芳賀ゼミ

国際税法のゼミです。所得税や法人税から始めて、国際取引にかかる租税について学びます。学生が主体となって進めていきます。

多彩な内容の講義

法学部では、現代社会で生じている問題に対して、法律的な切り口から検討する特別講義（A～E）も開講しています。
この科目は、法律学科・経営法学科両方の学生が受講できる科目です。
2025年度は、「スポーツと法」、「ジェンダーと法」、「SDGsと法」、「不動産鑑定の実務」というテーマの特別講義を開講します。
社会と法が直結していることを実感してください。

03 公務員・法曹等を目指す学生をサポート

法学部は、公務員や法曹その他の法律専門職を目指す学生の支援の取り組みを実施しています。ここではその取り組みのいくつかを紹介します。

■基礎ゼミ ―公務員の仕事を実際に見てみる「東京研修」―

法学部では、福岡大学独自の「特色ある教育」の一つとして、法律学科の新入生から希望者40人程度を募って、「基礎ゼミ」を開講しています。「基礎ゼミ」では、大学での学習の基礎となる文献調査や演習での課題報告を経験しながら、座学だけでなく、研究発表、実際の役所や公的施設への訪問といったさまざまな方法で、社会の中での政府の役割や公務員の仕事について考えていきます。

このため、年間を通じて県庁、市役所、裁判所といった福岡市近在の官公署への訪問・見学を行うだけでなく、夏休みなどの期間を利用して、東京への研修旅行を実施しています。訪問先は、国会や最高裁判所の他、内閣府、総務省、警察庁、東京大学など幅広い候補から選ばれています。これらの訪問では特に、官庁や自治体等の現場で働く公務員の方から話を伺うなど具体的な経験を通じて、こうした仕事に就くことの意味を自ら考え、将来に向けた各自の目標をより明確なものにしていくことを目指しています。

■法律特修プログラム ―公務員・法科大学院進学希望者をサポート―

2020年度新入生以降は、同プログラムに「法曹クラス」が新設され、いわゆる「法曹コース」として文部科学省から認定を受けました。授業の成績の他、必要に応じて実施される筆記試験や面接試験に基づいて選考がなされます。このクラスの修了者は、在学3年目で本学法科大学院（ロースクール）の既修者コース（2年コース）の特別選抜＊を受験することができ、早期卒業制度＊＊を利用することにより、学部入学から最短6→5年で法曹になれる道が開かれることになりました。もちろん、法曹になるためには法科大学院を修了し、司法試験に合格しなければなりませんが、法学部は法科大学院と連携して、法曹を目指す学生を支援していきます。

＊論文式試験を課さずに本法曹クラス成績等に基づき合否判定を行う入学者選抜で、「5年一貫型教育選抜」といいます。

＊＊早期卒業制度（詳しくはP.17）。

■公務員試験等研究部会（課外講座）

法学部では課外講座として従来から公務員試験等研究部会を設置して、司法試験や公務員試験の合格を目指す学生を幅広く支援してきました。

現在の研究部会には、大きく言って二つの柱があります。まず第一は、法科大学院（ロースクール）受験対策クラスです。このクラスは、現役の弁護士である講師を招聘して、ロースクールの既修者コースの受験に必要な憲法、民法、刑法の試験対策を2年次からの約3年の期間、少人数のクラスで個別指導を交えてみっちり行います。このクラスからは毎年、全国の有名ロースクールへの合格者が出ています。

第二の柱は、一般クラスです。このクラスでは教養基礎講座、民法基礎講座、憲法基礎講座を設けて、レベルに応じた効果的な学習プログラムを組んで試験対策を支援しています。

その他、研究部会では、司法書士試験に対応した特別クラスも開講しています。

04 本物にふれた。
来てよかったと日記に書いた。
「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」

法律学は、ローマ法以来、2000年以上の伝統を持つ学問です。天にそびえるゴシック教会のように、古代・中世・近世・近代と、礎石からはじまって尖塔まで、営々として積み上げられ、いまなお建築中の学問です。緻密にして重厚、広大にして深遠な学問です。人類が長い年月をかけて築き上げてきた法律学の伝統を謙虚に学び、若い皆さんに伝えることも、われわれ福岡大学法学部スタッフの使命です。

福岡大学図書館の一室に「貴重書庫」があります。そこには、「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」と呼ばれる、膨大な法律文献集成があります。この書庫に入ってみましょう。きっと、ローマ法以来のヨーロッパ法が醸し出す伝統の重みに圧倒され、学問の迫力に身震いするでしょう。

「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」は、15世紀以来19世紀にいたるヨーロッパの法律文献を集成した文庫です。その大半は『ローマ法大全』原典とその注釈書から成っています。その中には、わが国はもちろんのこと、世界でも、この福岡大学にしかない貴重な本もあります。

これらの書物をひもとけば、現代社会がかかえる、さまざまな法律問題について、その解決のためのヒントが見つかります。わが国のみならず世界各国から、いろいろな研究者の方々が、福岡大学を訪問し、このコレクションを利用してきました。ローマ法研究の世界的権威・故ヘルムート・コーイング先生の感想を紹介します。「このコレクションは、ヨーロッパ人にとっても有益である。ここでは、さながらヨーロッパにいるかのように研究できる。これは、ローマ法という学問がいかに世界中で通用する学問であるかを物語っている」。福岡大学に入学して、本物の学問に触れてみませんか。なお「福岡大学ヨーロッパ法コレクション」は現在、その総目録がＤＶＤに収められています（2004年度、私立大学図書館協会賞を受賞）し、福岡大学図書館のウェブサイトでもご覧になれます。お試しあれ。

福岡大学図書館
ウェブサイト

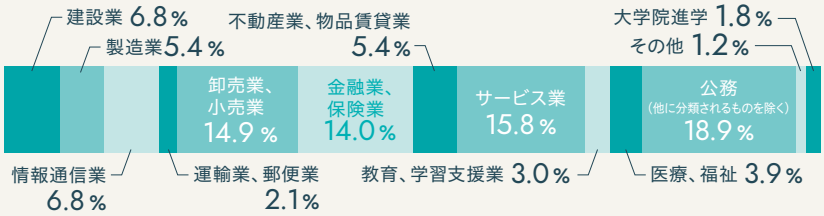
就職

一般企業への就職が中心ですが、国家公務員、市町村職員、警察官、消防官、教員、法律専門家、大学院進学などの進路を選択する卒業生も多いです。さまざまな進路が広がっていることも福岡大学法学部の魅力の1つです。

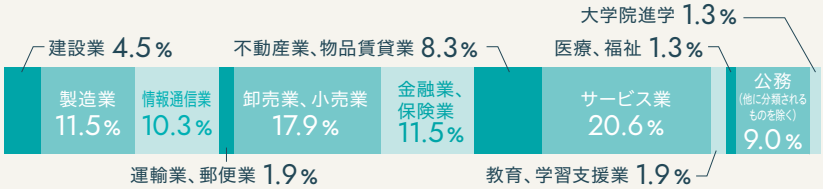
主な就職・進路先（業種別）

［2024年度卒業生実績］

法律学科



経営法学科



就職・進路先の例（企業名別）

［2022年度～2024年度］

公務（他に分類されるものを除く）
- 国家公務員一般職
- 裁判所事務官一般職
- 法務省専門職員（人間科学）
- 国税専門官
- 福岡県庁
- 佐賀県庁
- 熊本県庁
- 大分県庁
- 鹿児島県庁
- 福岡市役所
- 北九州市役所
- 福岡県警察本部
- 東京消防庁

建設業
- 住友林業（株）
- （株）九電工

製造業
- （独）国立印刷局
- TOPPAN（株）
- （株）ツムラ
- トヨタ自動車九州（株）
- 久原本家グループ
- 象印マホービン（株）

電気・ガス・熱供給・水道業
- 九州電力（株）
- 西部ガス（株）

情報通信業
- Apple Japan合同会社
- NECソリューションイノベータ（株）
- （株）ゼンリン
- （株）NTTドコモ
- （株）QTnet
- ソフトバンク（株）

運輸業、郵便業
- 九州旅客鉄道（株）
- 西日本鉄道（株）
- 西日本旅客鉄道（株）

卸売業、小売業
- （株）PALTAC
- （株）大塚商会
- 三菱電機住環境システムズ（株）
- 伊藤忠丸紅鉄鋼（株）
- （株）日本アクセス
- ヤマエ久野（株）

金融業、保険業
- （株）西日本シティ銀行
- （株）日本カストディ銀行
- （株）福岡銀行
- （株）りそな銀行
- 大和証券（株）
- 日本生命保険（相）
- あいおいニッセイ同和損害保険（株）

不動産業、物品賃貸業
- 三菱UFJ不動産販売（株）

生活関連サービス業、娯楽業
- （株）エイチ・アイ・エス
- （株）JTB

教育、学習支援業
- 福岡県教員（高校）

サービス業（他に分類されないもの）
- 日本司法支援センター

大学院
- 福岡大学法科大学院
- 福岡大学大学院
- 九州大学大学院
- 上智大学大学院

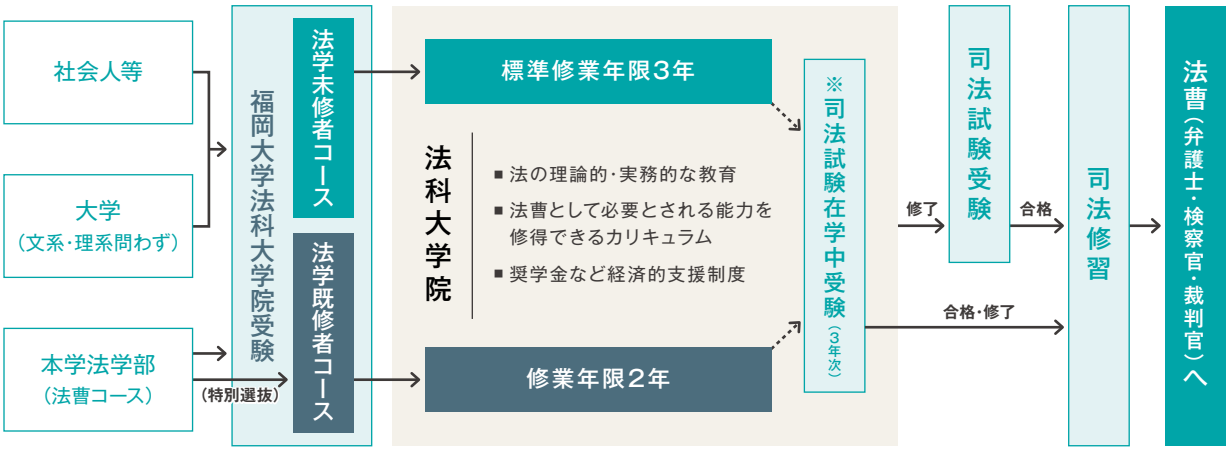
など

福岡大学大学院法曹実務研究科
（法科大学院）

法科大学院は、法曹（弁護士、裁判官、検察官）を養成することを目的とする専門職大学院です。
本法科大学院では人間性豊かで専門性を備えた真のプロたる法曹を育成します。

法曹コース修了後、特別選抜を経て入学し、司法試験在学中受験を活用すると、学部入学から最短5年で司法試験に合格することができます。

福岡大学法科大学院から法曹へのプロセス



※「司法試験在学中受験プログラム」を履修し、受験資格の要件を満たす必要があります。

本法科大学院は法曹を目指す福岡大学法学部の学生を支援します。

5年一貫型教育選抜（特別選抜）

本学法学部法曹コース修了見込かつ、早期卒業見込者は、在学3年目で本法科大学院の既修者コース（2年コース）の特別選抜を受験することができます。学部入学から最短5年で司法試験合格への道が開かれています。

福岡大学髙田法曹育成基金奨学金

本学法学部を卒業して本法科大学院に入学し、成績が優秀と認められたものに対して給付するものです。原則として返還義務はありません。この奨学金は、本学髙田桂一名誉教授から、本学法学部出身の法科大学院生を対象とする給費奨学制度の創設を目的とした寄付により設立されたものです。

早期履修制度

本学法学部の早期卒業予定者または4年次以上の卒業見込者で、本法科大学院への進学希望者は、法学部長および法科大学院長の許可を得て、本法科大学院の授業科目を無料で履修できます。修得した単位は、本法科大学院進学後に法科大学院の修了要件単位として申請し、承認されれば既修得単位として認定されます。

司法試験合格実績

本法科大学院は、これまでに87人の合格者を輩出しています（2024年11月現在）。
そのうちの28人が福岡大学出身者です。

司法試験合格者の声

指山 隼冶 さん
（福岡大学 法学部 出身）

私は福岡大学法学部法律学科を卒業しており、福岡大学法科大学院であれば、生活環境を変える必要がないため勉強に集中できると思い進学しました。本法科大学院で学ぶ中で特に印象深かったのは、司法試験に合格された先輩の多くが自習室に閉館ギリギリまで残って勉強されていた光景です。私もできる限り自習室の閉館時間まで残って勉強するようになりました。司法試験を受験するにあたり、自分は入学した時点で他の受験生に大きく後れを取っていると考えていたので、周りに追いつくために勉強時間を増やすことに注力しました。趣味の時間を削ったり食事の回数を減らしたりと、きつい時期もありましたが諦めず取り組めて良かったです。また、髙田法曹育成基金奨学金の給付を受けていたので、試験勉強に集中することができ、本当に助かりました。

法科大学院公式ウェブサイト
https://www.ilp.fukuoka-u.ac.jp/

法学部 Q&A

Q1 法学部の特色を教えてください。

社会の規範となる法を学び、社会におけるさまざまな問題をバランスよく解決する思考方法（リーガルマインド）や技術を身に付けることによって、豊かな人間性を育むことを目的とした学部が法学部です。

法学部で習得した法律知識とリーガルマインドは、卒業後、法曹（裁判官・検察官・弁護士）、公務員や企業などのさまざまな分野において、国内的・国際的に、生かすことができます。特に、法科大学院を卒業することが原則である法曹の一員となるためには、最速・最適の学部が法学部であるといえます。

Q2 カリキュラム上の特色は何ですか。

本学部のカリキュラムは、法律学科の３コースと経営法学科の２コースに分かれ、多彩な講義科目および演習科目が開講されています。学生の興味や関心、将来計画に沿った系統的・効率的な学習ができるように構成されています。

また、法曹や公務員試験を目指す学生のためのサポートを行っています。（法学部トピックス03参照）

Q3 法律学科と経営法学科の違いは何ですか。

法律学科は、広く社会に対応できる法律学と政治学に関する知識を深く学ぶことを主な目的としているのに対して、経営法学科は、企業法制に関する知識や国際的な視野を身に付けることを主な目的としています。

■法律学科

大学院進学・法律系資格の取得・一般企業への就職を目指す「法律総合コース」、公務員・外交官・公共団体職員を目指す「公共法務コース」、公務員・政策スタッフ・社会福祉団体職員・NPO・マスコミなどを目指す「総合政策コース」があります。

- 法律総合コース … 六法科目をコア科目として、法律を幅広く総合的に学習します。
- 公共法務コース … 憲法、行政法、国際法をコア科目として、公法科目を中心に学習します。
- 総合政策コース … 政治学をコア科目として、政策系・福祉系科目を中心に学習します。

■経営法学科

企業法務に精通したビジネスパーソンとして活躍したい人や起業を目指す人のための「企業法コース」、国際的な分野において活躍したい人のための「国際コース」があります。

- 企業法コース …… 会社法などの企業法および知的財産法、経済法、税法などの企業関連法をコア科目として学習します。
- 国際コース …… 国際関係法、外国法・外国政治および海外研修科目をコア科目として学習します。

Q4 「ゼミ」とは何ですか。

「ゼミ」とは、少人数のクラスの中で、学生と教員が密接に触れ合いながら、さまざまな問題をより深く追求していく授業のことです。法学部の授業の中では、「演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅱa・Ⅱb・Ⅲ」、「法学部入門ゼミ」や「基礎ゼミ」などが「ゼミ」と呼ばれるもので、全学年で開講されています。

「ゼミ」では、いろいろな問題を学生が自ら考え、「ゼミ」の仲間や教員と討論します。法的な思考方法を高めることの他、少人数クラスならではの深い友情を築くことができるのも特徴です。意欲のある学生は、４年間の学習の集大成として、卒業論文を作成することもできます。

（法学部トピックス02参照）

Q5 法学部入門ゼミ・クラス担任について教えてください。

法学部では、新入生のために１年前期に「法学部入門ゼミ」を開講し、高校での勉強から大学での勉学への橋渡しをスムーズに行うことができるように、大学での学習方法や法学・政治学の入門的知識を身に付けてもらうようにしています。また、クラス担任をおき、学生の学習に関する相談に応じたり、アドバイスを行ったりする他、必要に応じて修学指導を実施するなど、同一教員が４年間サポートする態勢をとっています。

Q6 海外研修と早期卒業制度について教えてください。

1年次の国際コミュニケーションの科目（経営法学科は選択必修科目）で、アメリカのシアトル大学における現地研修を実施。また2年次以降も、海外での現地研修が行われます。（法学部トピックス01参照）

また、法学部では、本学の法科大学院または法学研究科その他本学の大学院に進学する学生のために、３年間で学部教育を修了できる早期卒業制度を用意しています。この制度は、一定の優秀な成績をあげた学生に認められるもので、毎年、何名かの学生が早期卒業制度を利用して本学の法科大学院や法学研究科に進学しています。早く法曹や研究者になりたい、早く資格等を取得したいと考えている人には大変意義のある制度といえるでしょう。

Q7 卒業生の進路傾向について教えてください。

本学部は創設以来、産業界をはじめ、法律専門家、国家・地方公務員、警察官・消防職員、中学校・高等学校教員など、多くの優秀な人材を社会に送り出しています。産業界の好・不況にかかわらずさまざまな分野から毎年安定した求人募集があるのも、本学部の学生に対する期待の大きさの現れだといえます。 （P.14参照）

Q8 インターンシップ科目について教えてください。

経営法学科の学生は、法学部が認めるインターンシップを卒業単位に含めることができます。単位数は2単位です。インターンシップの前後に法学部による指導が行われます。

詳しい情報は法学部ウェブサイトをご覧ください。

福岡大学法学部 ウェブサイト
https://www.law.fukuoka-u.ac.jp/

FUKUOKA UNIVERSITY

入学センター
〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号
TEL：092-871-6631（代）

法学部
ウェブサイト

キャンパス
マップ